

道母連だより

■第105号■

発行日/令和8(2026)年9月1日

発行/社会福祉法人 北海道母子寡婦福祉連合会

〒060-0031

札幌市中央区北1条東8丁目 北海道母子福祉センター内

電話 (011) 266-10447

●題字は山高しげり先生 ●印刷 晴アイワード



着任のご挨拶

北海道保健福祉部
子ども応援社会推進監

鈴木 義和

このたび、子ども応援社会推進監に就任いたしました鈴木と申します。

貴会におかれましては、日頃からひとり親家庭及び寡婦の福祉の向上に多大なるご尽力を賜り、心より敬意と感謝を申し上げます。

先日公表された人口動態統計によれば、昨年の全国の出生数は67万人、出生率は1・14といずれも過去最低を記録、中東情勢等の世界経済情勢の影響等による物価高騰も続き、私たちを取り巻く社会環境は激動の最中にあります。そうした中、ひとり親家庭をはじめ

め、子育て世帯の皆様を取り巻く状況も複雑化、多様化しています。

国では「こどもまんなか社会」の実現を基本理念に掲げ、「こども未来戦略」に基づき、児童手当の拡充やこども誰でも通園制度の創設、ひとり親家庭への就業・自立支援など、子どもや子育て世帯への支援を総合的に推進・強化しているところです。

一方、制度が整備されても、必要な方へ確実に支援を届け、一人ひとりに寄り添うためには、地域で活動される皆様との連携が不可欠です。

長年にわたり貴会が取り組まれてきた会員相互の支え合いは、行政だけでは行き届かないきめ細かな支援として、多くの方々の安心につながっており、ひとり親家庭や寡婦の皆様が孤立することなく、自立に向けた一歩を踏み出すための大きな力として、ますます重要になっていと感じています。

道といたしましても、ひとり親家庭の皆様が地域で安心して自立した生活を送ることができるよう各種相談への対応をはじめ、資格取得を支援する給付金事業や各種貸付金による経済的支援、母子家庭等就業・自立支援センターにおける就業支援など、様々な施策を推進してまいりますので、一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴会のますますのご発展と、会員並びにご家族の皆様のご健康、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、着任のご挨拶といたします。

道母連研修会を終えて

理事長 畑 和子

当日は、全道一円から参集する会員が、母子福祉センター研修室を久々に埋め尽くしました。

行政説明は、道保健福祉部子ども政策局子ども家庭支援課今澤輝隆課長による、ひとり親家庭への国の動きと道の取り組みでしたが、社会保障制度の年金、医療、介護について詳細でわかりやすい説明をいただきました。

過去に、奨学金を受給され、成長された過程や現在のお仕事、今なお、高みを目指している貴重な体験は、後輩たちの励みになる報告でした。

今秋、山形県で開催の東北・北海道ブロック研修大会の北海道からの提言者、松井夏美さんの発表は、会場からも助言をいただき勇気づけられたと思いました。

講演は、イザという時を想定して生きているそうです。防災士の資格を持つ村田なちこさんの風呂敷活用術は、自然災害の多い昨今大切なお話でした。次回も会員・地区母連が誘い合って大勢の参加を期待し、情報交換や交流の機会を考えていきたいと心に残りました。